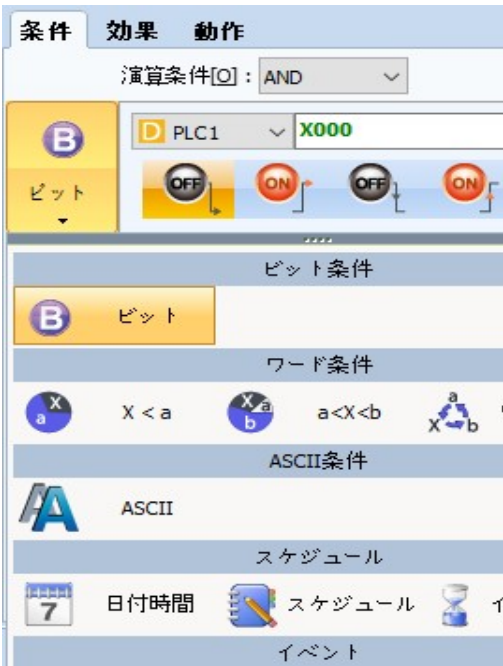


7.9 [動作]ページの設定

[動作]ページは、条件が正の場合に実行する動作を設定します。下記のイメージのように、動作には[ビット動作/ワード動作/ASCII動作/スクリプト動作/イベント動作/特殊機能/アクションなし]があります。



[図：動作ページ]

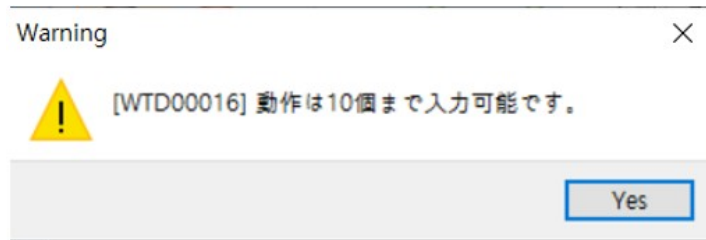
No	動作	説明
1	ビット動作	ビットアドレスのデータを制御します。
2	ワード 動作	ワードアドレスのデータを制御します。
3	ASCII動作	文字列を設定したアドレスに代入します。
4	スクリプト動作	スクリプト演算を設定します。
5	イベント動作	[キーボード/キーパッド/テンキー]のキーを設定します。
6	特殊機能	[画面/印刷/SDメモリ/メモリ/システム/App/カメラ]などに関連した動作を設定します。
7	動作なし	実行する動作を設定しません。

この動作は右上の  をクリックし、最大10個まで追加できます。
複数の動作を登録すると、条件が正の場合、上段の動作から順番に実行されます。



[図：動作の追加]

10個以上の動作を追加すると、下記のようにメッセージが表示されます。



[図：動作数を制限するメッセージ]

各動作の右には下記のように3つのボタンがあります。

No	動作	説明
1		該当動作を削除します。
2		複数の動作を登録すると、条件が正の場合、上段の動作から順を追って実行されます。 このボタンは動作の登録順（実行順）を変更するボタンで、該当の動作を上段へ1マス上げます。
3		複数の動作を登録すると、条件が正の場合、上段の動作から順を追って実行されます。 このボタンは動作の登録順（実行順）を変更するボタンで、該当の動作を下段へ1マス下げます。

条件が正の間には動作を実行する時、[最大実行回数/サイクル/遅延時間]などを設定することができます。

No	動作	説明
1	最大実行回数 (0=∞)	設定された動作を実行する回数です。[0]の場合、条件が正の間に動作が継続実行されます。[1]の場合、条件が正を維持しても動作は1回のみ実行されます。
2	サイクル (100ms)	動作を実行する時刻の間隔です。[0]は、毎スキャンで最も速いスピードです。
3	遅延時間(100ms)	動作を実行する遅延時間です。[0]の場合、条件が正であるときに動作が実行されます。 [5]x100msに設定した場合、条件が正であると[0.5秒]後に動作が実行されます。

7.9.1 [動作]ページ：ビット動作

(1) ビット

条件が 正の場合、ビットアドレスを制御します。



[図：ビット]

No	ビット	説明
1	アドレス	制御するビットのアドレスを設定します。
2		[OFF continue]です。条件が正の場合、設定したアドレスのデータはOFFになります。
3		[ON continue]です。条件が正の場合、設定したアドレスのデータをONにします。
4		[Reverse]です。条件が正の場合、設定したアドレスのデータが[0]の時は[1]、[1]の時は[0]になります。
5		[OFF pulse]です。条件が正の場合、設定したアドレスのデータを[維持時間]ほどOFFにします。 例えば、アドレスのデータは維持時間ほど[0]になり、その後は再び[1]になります。
6		[ON pulse]です。条件が正の場合、設定したアドレスのデータを[維持時間]だけONにします。 例えば、アドレスのデータは維持時間ほど[1]になり、その後は再び[0]になります。
7	インデックス	複数のビットアドレスにグループインデックスを設定します。複数のビットアドレスをグループ化する場合、[グループインデックス]に[0]を除く番号を入力します。[0]は、グループインデックスを使用しないことです。 番号は同じ番号を設定すると、ビットアドレスが 1 つのグループになります。 同じグループインデックスに設定したビットアドレスのうち、1 つをONにすると残りのアドレスのデータはすべてOFFになります。

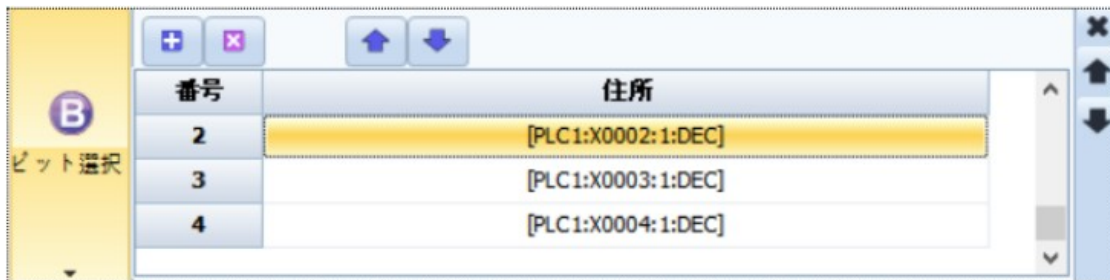
		Ex) [X001]から[X005]までを同じグループインデックスに設定し、[X001]を[ON]すると、残りのアドレス[X002～X005]はすべてOFFになります。
8	維持時間 (100ms)	[OFF pulse]と[ON pulse]で使います。OFFまたはONになった後、その値を維持する時間です。 [1～600](100ms)範囲で設定できます。

(2) ビットの選択

複数のビットアドレスを設定します。ビットアドレスは最大8個まで追加可能です。

条件が正の場合、[番号]の順に沿ってビットアドレスをONにします。

1つのビットアドレスがONになると、残りのビットアドレスがすべてOFFになります。



[図：ビットの選択]

No	ビットの選択	説明
1	アドレス	アドレス入力ボックスをダブルクリックしてアドレスを設定します。
2		ビットの選択に使用するアドレスを追加します。最大8個まで追加可能です。 8個以上を追加すると、下記のようにメッセージが表示されます。
3		選択したアドレスを削除します。
4		選択したアドレスを上位番号に上げます。
5		選択したアドレスを下位番号に下げます。

7.9.2 [動作]ページ：ワード動作

条件が 正の場合、ワードアドレスのデータを制御します。ワードアドレスはアナログデータを保存する16ビットアドレスを意味します。このアドレスにどんなデータを代入するか、演算の結果を代入するなどの動作を行います。



[図：ワード演算]

上記のように設定すると、条件が正の場合、[D0010]の値と[D0011]の値を足した結果を[D0010]に代入します。

No	ワード演算	説明
1	対象アドレス	演算の結果を保存するワードアドレスを設定します。 DEC UDEC HEX BCD FLOAT DEC 32Bit とサイズ 16Bit 32Bit を設定することができます。
2	アドレス	No [1]にアドレスを設定します。演算子で[;]を選択すると、番号[1]のアドレス値を対象アドレスに代入する演算になります。演算子で[;]を除く演算子を選択すると、No [2]が生成されます。No [2]に演算するアドレスを設定します。No [1]とNo [2]を選択した演算子に演算してその結果を対象アドレスに代入します。上記のように継続して演算子を設定し、演算するアドレスを設定しながら、演算式を増やすことができます。演算は演算子の種類に関係なく、No [1]から順番に沿って計算することになります。たとえば、No [1]とNo [2]の計算結果をNo[3]と演算し、その結果をNo [4]と演算します。
3	演算子	+ 2つの被演算子を足し算して対象アドレスに代入します。
		- 2つの被演算子を引き算して対象アドレスに代入します。
		* 2つの被演算子を掛け算して対象アドレスに代入します。
		/ 2つの被演算子を割り算して対象アドレスに代入します。
		^ 2つの被演算子をビットXOR演算をし、対象アドレスに代入します。
		% 2つの被演算子を剰余演算し、対象アドレスに代入します。剰余演算は割り算をした後、商ではなく余りが計算結果になる演算です。
		& 2つの被演算子をビットAND演算をし、対象アドレスに代入します。
		2つの被演算子をビットOR演算をし、対象アドレスに代入します。
		<< 左のビット単位シフト演算子です。最初の被演算子を2進数で表現した場合、2つ目の被演算子で指定した数ほど左へビット移動を行います。 Ex) 最初の被演算子が[D0001]データの[1]、2番目の被演算子が定数[3]で、[D0001] << 3]と演算すると、[1]を2進数で表現した値は[0000000000000001]になります。この値を3桁ほど左へ移動すると、[0000000000001000]になります。この結果値を10進数に変更すると、[8]になります。
		>> 右のビット単位シフト演算子です。最初の被演算子を2進数で表現した場合、2つ目の被演算子で指定した数ほど右へビット移動を行います。 Ex) 最初の被演算子が[D0001]データの[8]、2番目の被演算子が定数[3]で、[D0001] >> 3]と演算すると、[8]を2進数で表現した値は[0000000000001000]になります。この値を3桁ほど右へ移動すると、[0000000000000001]になります。この結果値を10進数に変更すると、[1]になります。
; 演算式の終了を意味します。		

7.9.3 [動作]ページ：ASCII動作

条件が正の場合、[読み込み]アドレスの文字列を読み込み、[対象]アドレスに代入(コピー)します。



[図：ASCII動作]

ASCII文字は1文字が8bitです。そのため、1ワード(16ビット)のアドレスには2つの文字が入ります。[対象]アドレスと[読み込み]アドレスの右側にそれぞれ[文字個数]を設定します。上記のように設定した場合、条件が正の時は[D0020]から10個の文字ですので[D0020]から[D0024]まで5個のアドレスに入っている文字10個を[D0010]から[D0014]までに代入します。

[対象]アドレスと[読み込み]アドレスの文字個数は異なる設定ができます。[読み込み]アドレスの文字個数が4個で、[対象]アドレスの文字個数が10個の場合、文字4個のみ下記のようにコピーされます。